

(様式2)

## 平成30年度 英語が好きになる学校づくり事業 取組報告書

事務所名	宮古教育事務所	学校名	山田町立豊間根小学校	TEL	0193-86-2412
------	---------	-----	------------	-----	--------------

<本校の研究テーマ>

「外国語活動・外国語の学習における児童の発達段階に応じた  
コミュニケーション能力の育成の在り方」

<学区内小・中学校共通主題>

「英語で主体的に表現しようとする児童・生徒の育成  
～表現したいことに寄り添う指導を通して～」

### 【ねらい】

本校の児童は、明るく素直な子が多く、決められたことに対してまじめに取り組むことができる。型通りのことは概ねこなすことができる一方、相手の思いや考えを受け止め共感する力、自分の思いや考えを伝える力、自分の伝えたいことを諦めることなく考えさらに良いものにしようとする力については、自分一人でやり遂げることができなかったり、不十分だったり、不安気だったりすることが多く見られ、今後さらにコミュニケーション能力を伸ばしていくことが必要であると考えた。

平成28年度の国語科の校内研究、29年度の算数科・体育科・外国語活動の校内研究の成果として「いわての授業づくり3つの視点」の「見通す・学ぶ・振り返る」という学習の流れは、どの教科でも有効であるということが校内でも共通理解されていたため、今年度は、先行実施となる外国語活動や外国語学習を通して、「いわての授業づくり3つの視点」に沿って、コミュニケーション能力を育成していきたいと考えた。

4月の段階での本校の児童は、外国語・外国語活動の学習に対して、興味を持ち取り組んでいる傾向にあり、新しく覚える英単語や挨拶等を教師の後に続いて声に出したり、楽しみながらゲームをしたりする児童も多かった。しかし、暮らしの中で知っている英単語や英語表現、また、学習活動の中で覚えた英単語や英語表現を活用しながら、自分の考えを相手に伝えようとするということについては、まだ自信がない児童が多く、慣れ親しむところまでにはいたっていなかった。そこで、同じ学区の中学校とも連携し、児童や生徒に見られる課題や必要な手立てについて話し合い、共通主題を設定した。

### 【具体的な取組】

#### 1 授業づくり

##### (1) 「いわての授業づくり3つの視点」

##### ① 「見通す」段階について

(ア)身に付けさせたい力や学習活動、時間内に解決できることを意識した学習課題の設定。

(イ)児童一人一人が、自分の学習課題として捉え、学ぶ必要性を感じさせることができるような工夫。

##### ② 「学ぶ」段階について

(ア)学習課題を解決するための手立てや視点、学習活動の方法の設定。

(イ)学習課題を解決するための、主体的・協働的な学習展開の工夫。

③「振り返る」段階について

(ア)「見通す」段階で見通した、ゴールや学習内容、学習プロセスに照らして、振り返ることができるような工夫。

(イ)児童の自己評価・相互評価、教師の評価の適切な位置付け。

(2)表現したいことによりそう指導

単元計画や全体計画に、「表現したい」と児童に思わせるような要素を組み込む。

- ①相手意識
- ②目的意識
- ③必然性

☆指導案に表記する際は、「よりそいポイント」とした。

1 子どもたちの思いによりそう

[子どもたちの思いをより明確にさせる、引き出す、自信をもたせる。]

例：目的設定、場面設定、事前調査、活動形態（ペア・グループ）、SmallTalk、机間指導、ALT・T2・T3の活用、相互評価等

2 もの（ツール）としてよりそう

例：ワークシート、壁面掲示、黒板掲示、手持ちカード、ジェスチャー、デモンストレーション、ロールプレイング、ゲーム、チャンツ、VTR、教具、デジタル教材、ワークシート、振り返りカード等

<3年授業の様子 2018.9.4.英語が好きになる事業 授業公開当日>



<5年授業の様子とワークシート 2018.9.4.英語が好きになる事業 授業公開当日>



外国語 学習カード	
Lesson 7 (What's new?) クイズ王にわれは負る!	
日付	期
月	物の回りの
日	物の言い方を 覚えよう
月	学んだ表現を 使って、クイズ を楽しもう
日	学んだ表現を 使って、クイズ を楽しもう
月	クイズ大会を 楽しこえ、 クイズ王にな ろう
日	クイズ王にな ろう

## 2 環境づくり

- (1) 校内掲示（教室、広場、階段のステップ、English コーナー）
- (2) 放送（週 1 回 English Time で英語の歌や簡単なお話を紹介、ALT による外国の文化の紹介）
- (3) 集会（全校での音楽集会で英語の遊び歌を取り入れる）

< 全校音楽集会以での様子（BINGO） >



## 3 職員研修

- (1) Weekend Classroom English（毎週の終会後のミニ講習会）
- (2) 研修会参加後の共通理解（資料回覧、伝講会）
- (3) 全職員でのマイクロティーチング（模擬授業）
- (4) 小中交流・幼保小交流

## 【成果】

### ・児童意識アンケート結果

アンケート実施月	6月	11月
「英語がとても好き」、「英語が好き」と答えた児童数【全校108人】 (アンケートの選択肢は4段階評価)	77人 (71%)	81人 (75%) 4ポイントUP

- ・外国語に慣れ親しむ児童が増え、英語への抵抗感がなくなってきた。
- ・自分の思いを英語で伝え合うことの楽しさを味わうことで、達成感や、次時への意欲が高まってきている。
- ・他教科の学習や、暮らしの中でも、簡単な英語を聞き取ったり、使ったりする様子が見られるようになってきている。
- ・子どもたちの発達段階や、思考の流れに合った授業の展開のパターンが定まってきた。また、それを職員で共通理解することができた。
- ・同じ学区の中学校の英語科の授業参観を通して、小学校外国語学習から中学校英語科への系統性を職員で共通理解することができた。